

9 2024年
月議会
VOL2 - No.56

辻本みえこ 議会レポート



連絡先 : 〒818-0034 筑紫野市美しが丘南 1-10-11 TEL & FAX 927-2239

ブログはほぼ毎日更新・・HP からどうぞ <https://ne4m-tjmt.wixsite.com/tsujimoto-mieko>

2024年9月議会



9月議会は、一般会計を始め、上下水道会計、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、奨学資金貸付会計などに使われたお金についての「決算審査」を中心の議会でした。

令和5(2023)年度一般会計決算392億円… 辻本のチェックポイント

防犯灯補助事業 220万円

辻本：LED化を進めてきたことの事業効果は。設置費用、更新費用などについて将来負担をどのように考えているか。



危機管理課長：1基あたりの年間の電灯費を単純に計算するとLEDが1450円、それ以外が330円、LED化することによって、電灯費の削減がある程度見込めるので、補助は継続する予定。



LEDに取り換えると自治会の電灯費負担がうへんと、削減できるけど、全部取り替えている地区や、ゼロ、あまり進まない所など地域差があるよ。行政区の資金力への配慮や、周知方法で情報が届いていないことなど考えないとニヤ～…

経済対策住宅改修工事補助 1192万円

辻本：防犯カメラの設置やセンサーライトの工事も対象になる事など事業内容をわかりやすく知らせて頂きたい。より多くの市民が利用したくなる制度となる。



建築課長：これまで使えなかった工事も増やして、健康促進改修や、ヒートショック対策も大丈夫だが、まだ使われていない。これにも使えるというお知らせをしないといけないと思っている。今後、一番いい方法で、周知を検討していきたい。

市民がこの制度を利用することで、補助金の14倍近い工事が市内の事業者の「仕事」となりました。民間の資金を活用した良い経済対策だと思っています。



耐震改修促進事業 280万円

辻本：建替えではなく住むのは別の家屋で除却だけになっているがどういうことか。

建築課長：地域の安全のため「耐震基準に満たない家屋をなくす」考え方で進めている。

8月1日から受付、即日終了でした。地震のニュースが続いたことから、耐震化の要望が多くなったとの事。すでに6年度予算は増額していますが、昭和56年以前の建築であれば、まずは耐震診断を…。

コミュニティ運営協議会補助事業 5108万円

辻本：議会報告会の時、二日市の方から「世帯数が増えたのに金額が変わってない」と言われた。なぜ令和2年度末の数値で計算されていたのか。「世帯数に応じて配分」というルールに則ってすべき。コミュニティは工夫しながら今の金額でやっている。何も苦情がなかったからこのままでいいということではない。

コミュニティ推進課長：本来であれば、地域の実情とか、先ほど言われた世帯数に応じて見直すべきだが据置きのままであった。交付金の算定の在り方についても各協議会の御意見を伺いながら見直しについて検討していきたい。地域で実際にどれくらい活動費が必要であるかとか、御意見を聞きながら、交付金についての増額というところも前向きに検討させていただきたい。



議会報告会で頂いたご意見を、決算審査に活かし、不適切な状況を、改善につなぐことができました。改めて、意見交換会の重要性を認識しました。

ごみ処理：収集 7.1 億円 焼却（クリーンセンター） 5.7 億円

辻本：燃えるごみ袋の小袋を選ぶ方が増えているが取扱店が少ない。小袋の推奨について、どう考えているのか。事業系の袋が減っているが、飲食店から家庭用のごみ袋で出していることが多い。事業系への指導の取組みはどうなのか。

環境課長：高齢者世帯とか単身の世帯が増えているという傾向は認識している。販売店、商工会と連携して小袋の取扱いを推進したい。事業系ごみは通報等があるので、適宜指導を行い、事業系のごみ袋で出すような取組は引き続き行いたい。

辻本：ペットボトルは燃えるごみの中から分別し「資源」として出すキャンペーンをしてもいいのではないか。

環境課長：回収したものは「ボトルtoボトル」で資源としてペットボトルを作れる状況。しかし回収袋に入っていても汚れたものは選別のときにごみになる。やはり啓発が一番大事と思っている。

燃やすごみが減るとクリーンセンターへの負担金が減ります。資源になるものは分別することで、市民全体でごみ量を減らしていくべき…と思っています。
ゴミ袋を「小」にすると ⇒ 分別が進む ⇒ 小さい袋の利用をおすすめします。



令和5(2023)年度一般会計補正予算(第3号)約14.8億円

基金積立：12億0900万円

5年度決算剰余金を財政調整基金に6億9520万円、ふるさと応援寄付金を創生振興基金に5億1389万円積立て。

産後ケア事業：446万円

訪問型サービスに加え宿泊型、通所型サービスを追加し、利用可能回数を2回から7回へ。
★新たなサービスについて、母子手帳交付時、妊婦健診、赤ちゃん訪問時に周知。利用できる施設の情報を含め、既に利用申請している方は個別にお知らせを郵送。

児童クラブ運営事業：1536万円

放課後児童クラブの利用児童数増加したため、委託料を増額。

★児童クラブの部屋の充実については、児童数の増加に対して二日市、二日市東小学校は校舎改修に併せて対応。筑紫小、筑紫東小は、今後の増加数を見て検討。

産後ケア事業の拡充、病児保育事業、保育所設置補助、学童クラブ運営事業委託料…など、子どもを産み育てるのに必要な施策への補正予算が増えてきました。



困難な問題を抱える女性への支援…

一般質問

令和4年、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律（女性支援新法）」ができました。生活困窮、性暴力、性犯罪被害、予期せぬ妊娠、DVや虐待、孤立・孤独など、日常生活や社会生活を円滑に営む上で困難な問題を抱える女性であれば、年令、障がいの有無、国籍等を問わず、性的少数者を含め、法による支援の対象者となります。現に問題を抱えている方だけでなく、今、何らかの支援をしないと、将来的に問題を抱える状況になる可能性がある方も支援対象者となります。このことについて、市の取り組み方針を確認しました。

辻本：困難な問題を抱える女性への支援に関する法律ができました。支援の対象者の把握はどのようにするのか。

総務部長：男女共同推進センター相談室だけでなく児童福祉や母子福祉、生活困窮者支援等の制度の実施機関との連携など、多様な相談ルートによる対象者の把握に努めている。

辻本：市町村は、支援の主体として位置付けられている。困難な問題を抱える女性への支援についての基本計画の策定について、どのように考えているか。

総務部長：基本計画策定については市町村において努力義務とされておりますが、国の基本方針、県の基本計画を踏まえ、本市の基本計画策定に向けた取組を講じたいと考えている。

運動・トレーニング施設の充実を

一般質問

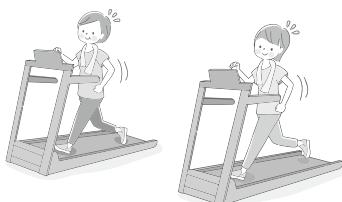
「運動」とは、身体活動のうちスポーツやフィットネスなどの健康・体力の維持・増進を目的として計画的・定期的に実施されるもので、身体活動・運動の量が多い者は少ない者と比較して循環器病、がん、口コモティブシンドローム、うつ病、認知症等の発症・罹患リスクが低いことが報告されています。身体活動・運動の意義と重要性を理解し、実践することは、超高齢社会を迎える我が国、健康寿命の延伸に有意義と考えられています。そこで、運動や筋トレができる施設の方針を聞いてみました。

辻本：筑紫野市には、運動・筋トレをするための社会資源としてどのようなものがあるのか。

総務部長：カミーリヤではトレーニング健康測定室、歩行訓練プールに専門の健康運動指導士が常駐し、屋外にはウォーキングロードや多目的コートを整備している。農業者トレーニングセンターのトレーニングルームには自主的に運動ができる方への運動器具を設置している。

辻本：施設が十分であるのか検証が必要。特に農業者トレーニングセンターのトレーニングルームは課題が多い。現状の施設をどのように考えているのか。

総務部長：現在策定中のスポーツ推進計画において、市民等へのアンケートなどを実施、課題整理をおこなっており、その計画の中で、スポーツ施設の充実・環境の整備についての検討を進める。

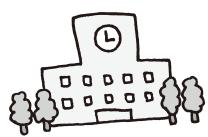


筋トレしたいけど民間のジムはちょっと高いし…、カミリヤと農トレは狭いし、シャワーもないし…、そういえば、お隣のD市に行っている人、多いにや～…

みえこの絵日記…こんな話、聞いてきました…

10月9日(木)

於：盛岡市
全国議長会主催の研修会



テーマは「主権者教育の新たな展開」。学校教育では「政治教育」はタブー視されてきましたが、令和5年に地方自治法改正を踏まえた主権者教育の推進に関する決議が出たことで地方議会が動き始めました。小中高・大学生を対象にした取組み等の紹介があり、参考にしようと思いました。…が、法政大学の土山希美枝教授の「議会が市民を教育てるのではなく、市民と議員が学びあうならわかる。★議会の『本来』の機能に、「主権者教育」をどのような意味を持たせるのか、議会は考え方をすべきではないか」という話が「新たな視点」として良かったなと思いました。

10月16日(水)

於：大分市議会
「議会防災会議と議会BCPについて」



大分市の議会防災会議は平常時から設置しており、市内7つの地区組織に、全議員がどこかに所属する体制をとっています。災害時には「災害対策会議」に切り替わり応急対策、復旧、復興に対応するとの事。平常時には、所管区域の危険個所を見回り、災害対策について課題を把握すること。災害時には市の災害対策会議と連携して、災害情報の提供と情報共有。避難所の状況を把握し、市民の声を聞く…との事です。★議員の活動として決まっていれば動きやすいし、基本的に議員は地域にいるので良いシステムだと思いました。

10月11日(土)

仙台男女共同参画推進センター
(エル・ソーラ仙台)



このセンターでは、2011年3月の東日本大震災の時、「せんたく・プロジェクト」として、被災地釜石の女性たちの衣類の洗濯を、仙台市内の女性団体のネットワークで引き受けました。その時の「震災・復興の経験」が「困難な状況にある女性の自立に向けた支援」にどのように活かされているのか、話を伺いました。『困った時のあなたの居場所』『女子のためのホットスペース』などが、多くの協力者の参加で、開かれました。★普段は異なる活動をしていても何かの時につながれるネットワークの重要性を痛感しました。

10月30日(水)

於：姫路市役所
「食品ロス削減の取組みについて」



小盛りメニューの設定、食べきりの呼びかけ、フードドライブ活動、小売店での「てまえどり」のススメ…など様々な取り組みの中で、マッチングサービス「Utteco Katteco by タベスケ」は、消費期限・賞味期限の迫る食品や生産・流通での規格外品など廃棄になる可能性のある食品を安価で販売する情報を発信し、消費者はその情報で注文予約がスマホやパソコンからできるシステム。利用者17685人、取引成立5879件、8090kgの削減実績。★興味ある取り組みだけど…ちょっと経費が掛かり過ぎるかも。

☆☆ 応援してください ☆☆

後援会の活動費は会費と寄付でまかなっています。
会員になってくださるよう、お願ひいたします。

年会費 1口 1000円

会費のお振込みは…

郵便振込み 01750-4-7083 辻本みえこ後援会
〒818-0063 筑紫野市桜台1-30-1 TEL.919-6569

出前報告会再開です。

12月5日エコハウスします。
いつでも、声をかけて下さい。

